

第8回 The 8<sup>th</sup> Japanese Association of Re-work  
for Depression Annual Convention

# 日本うつ病リワーク協会 年次大会 長野大会

地方都市における  
持続可能な医療リワーク



プログラム集

会期 2025年 4月 26日<sup>土</sup>・27日<sup>日</sup>

会場 まつもと市民芸術館 (〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1)

大会長 鷺塚 伸介 (信州大学医学部精神医学教室教授)



▲大会 HP

# 第8回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 長野大会

The 8<sup>th</sup> Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

プログラム集

## 地方都市における 持続可能な医療リワーク

会期 2025年4月26日<sup>土</sup>・27日<sup>日</sup>

会場 まつもと市民芸術館 〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1  
TEL 0263-33-3800

大会長 鷺塚 伸介 信州大学医学部精神医学教室教授

主催 一般社団法人 日本うつ病リワーク協会

## 第8回日本うつ病リワーク協会年次大会

# ご挨拶

大会長 鷺塚 伸介  
信州大学医学部精神医学教室 教授

この度、第8回日本うつ病リワーク協会年次大会を、2025年4月26日(土)～27日(日)の2日間、長野県松本市の「まつもと市民芸術館」で開催させていただきます。

本協会の前身である「うつ病リワーク研究会」が2008年に結成されたときはごく小さな集まりだったものが、その後徐々に構成員を増やし、2018年2月に「研究会」から現在の「日本うつ病リワーク協会」に発展したときには、構成施設数221、会員数は945名を数えるまでに至りました。「その後も協会は順調に発展を続けた」と書きたいところですが、2024年1月31日現在、施設数は205、会員は1084名となり、会員数こそ微増したものの、協会を構成する医療機関はむしろ減少しています。これには様々な要因が考えられますが、地方における医療リワークをとりまく厳しい環境が理由の一つにあげられるかもしれません。

大会長である私が住む長野県を例にとると、協会が発足した2018年に2,073,196人だった県民人口が、2024年2月には200万人を割ってしまうなど、わずか6年の間に7万人以上も人口減少し、50年前の1973年の水準に戻ってしまいました。さらに、少子高齢化の進行により、単なる人口減だけでなく生産年齢人口の減少が深刻な問題となっています。たとえば1975年の人口構成において、15-64歳の生産年齢人口は66.3%だったものが、2023年には55.6%と10%以上も減っています。精神的不調を来しても、大企業が少なく中小企業が事業所のほとんどを占める地域では、働き手が少ないだけに社員は簡単には休むとは言いだしにくい心理が働きますし、仮に休職し療養できたとしても企業は一刻も早い復職を求めがちになりますから、リワークのために長期の休みをとりづらい環境になることを意味します。質の高い医療と経営との両立に頭を痛めている地方都市の先生方にとって、利用者が十分いるのか不透明な状況下で、優秀なスタッフを複数揃えて運営する医療リワークに乗り出すことは、施設の存亡をかけて臨む覚悟が必要というのは言い過ぎでしょうか。

しかし、一方ではこんな数字もお示しできます。当協会の会員施設の所在地を見ますと、およそ28%の医療機関は人口20万人未満の市町村にあり、私が勤務する信州大学がある松本市など人口30万人未満の都市にまで対象を広げると、協会所属施設の約40%が含まれることになります。大都市に隣接する地域もありますから、これらの施設を一律に「人口減が進む地方都市所在」という括りにはできませんが、地方都市にありながら、質の高いプログラムを実践し、実績を残して利用者や企業の信頼を得ている医療機関があることにも触れないわけにはいきません。今回の年次大会は、こういった地方で運営されている医療リワークに目を向けます。「量」に多くは期待できないものの「質」が高いからこそ持続可能だと仮定すれば、その医療実践は地方のみならず、大都市部でのリワーク運営にも必ずや役立つ話題提供や議論が行われるものと信じます。

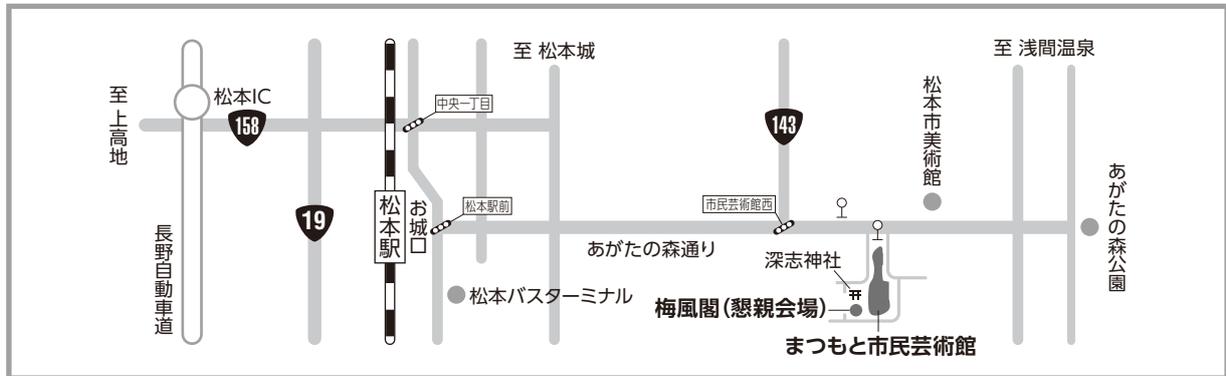
4月末の信州は、桜はすでに散っていますが、新緑が美しく北アルプスの雪景色と素晴らしいコントラストを見せる季節です。会場のまつもと市民芸術館の目の前には松本市出身の草間彌生の常設展が見られる松本市美術館があり、松本城にも徒歩15分と学会の合間に豊かな文化に簡単に触れることができます。松本は信州そばはもちろん、地酒やワインの質も高く、そば打ち名人の実演を見ていただき、その打ちたてのおそばとお酒で楽しい夕べの時間もお届けしたいと思っております。多くの方のご参加をお待ちしています。

# 交通のご案内

## ■ まつもと市民芸術館

〒390-0815 長野県松本市深志3-10-1 TEL 0263-33-3800

アクセスガイド <https://www.mpac.jp/access/>



### ○ 電車をご利用の場合

JR中央線・篠ノ井線 松本駅（お城口）より徒歩約10分

### ○ バスをご利用の場合

停留所「市民芸術館」で下車してください。

・路線バス

北市内線東回り（系統番号100）

横田信大循環線（系統番号120）

並柳団地線（系統番号23）

松本周遊バス「タウンズニーカー」

※松本市内バス路線図・時刻表は下記リンクまたは右のQRをご確認ください。

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/222/3237.html>



### ○ 飛行機をご利用の場合

信州まつもと空港より松本バスターミナル行き（約30分）のバスが運行されています。

バスターミナルからは徒歩（約14分）または路線バスをご利用ください。

※信州まつもと空港を発着するバスは下記リンクまたは右のQRをご確認ください。

<https://www.matsumoto-airport.co.jp/access/bus>



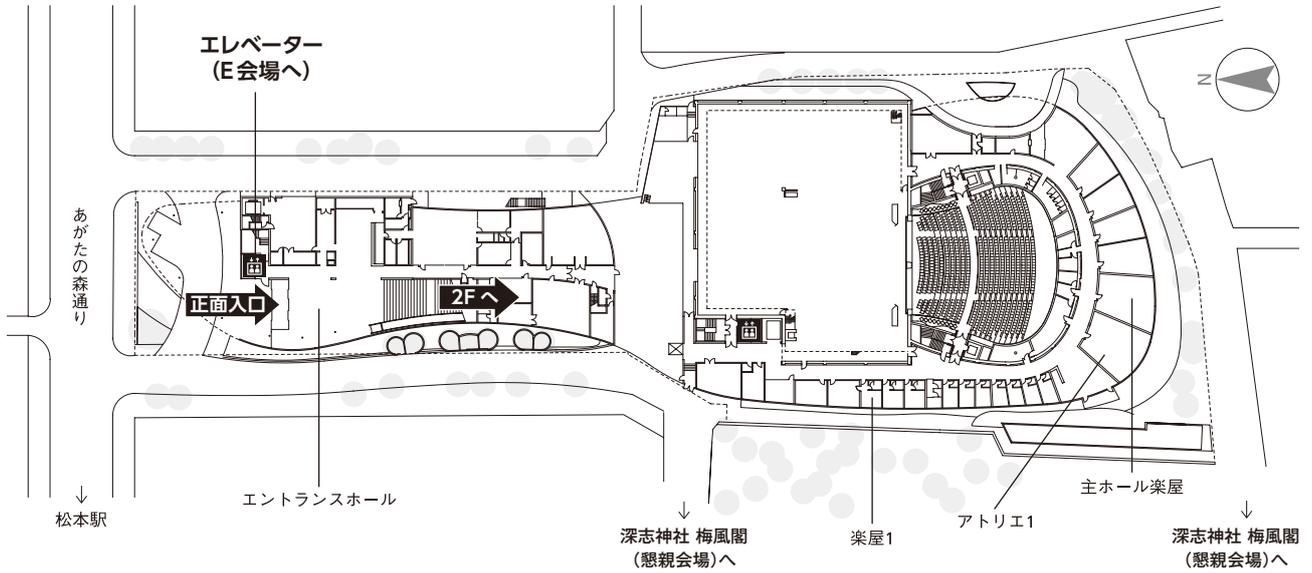
### ○ お車でお越しの場合

長野自動車道 松本ICより車で約15分

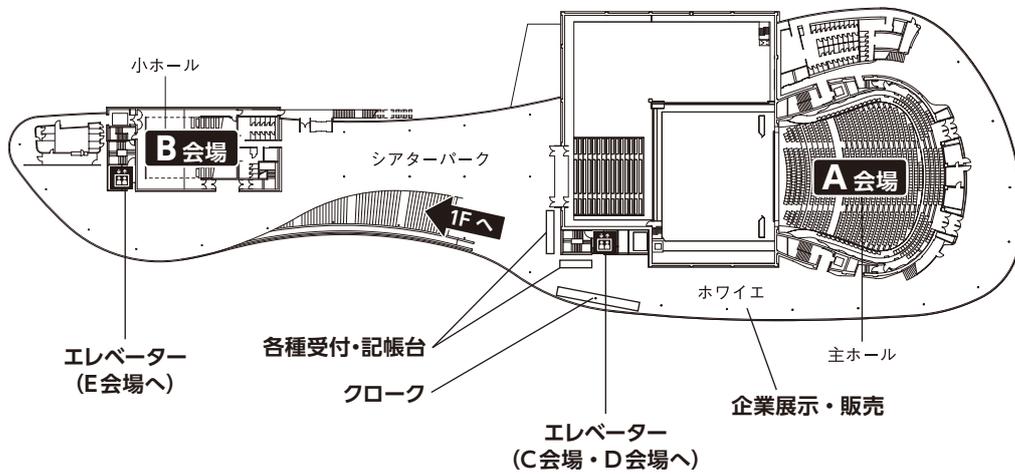
※駐車場のご用意はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

# 会場案内

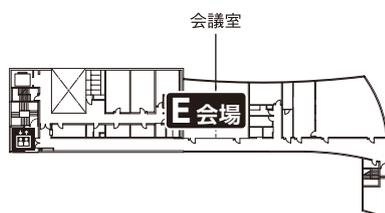
## 1階



## 2階 A会場(主ホール) / B会場(小ホール) / 各種受付(シアターパーク) / クローク・企業展示・書籍販売等(ホワイエ)

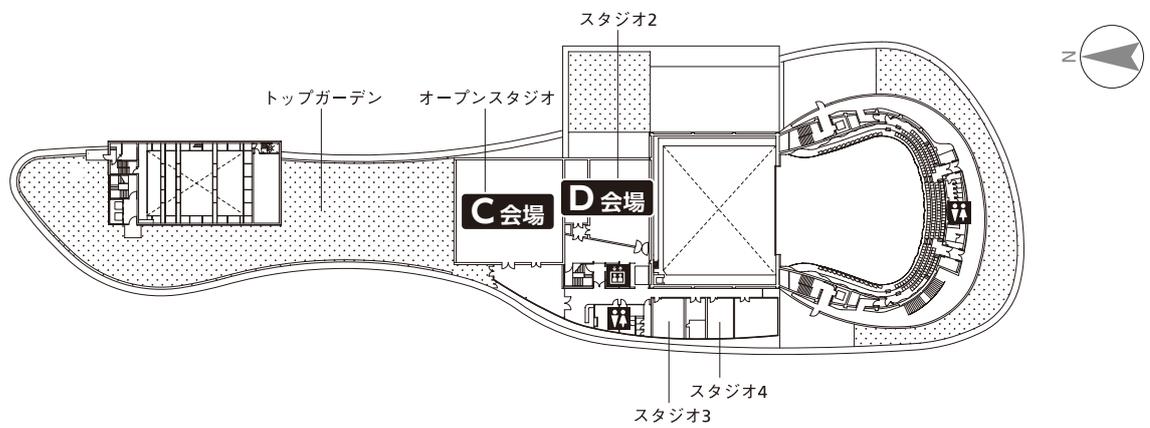


## M2階 E会場(M2会議室) ※正面入口の左手にあるエレベーターでM2階へお上がりいただき、エレベーターを降りそのまま直進してください。



**3階** **C会場** (オープンスタジオ) ※正面入口から大階段を上がり右前方へ直進、2F 主ホール手前のエレベーターで3F へお上がりください。

**4階** **D会場** (スタジオ 2) ※正面入口から大階段を上がり右前方へ直進、2F 主ホール手前のエレベーターで4F へお上がりください。



# 参加者の皆様へ

## 1. 事前参加登録をされた方へ

大会前に参加証（名札・参加証明書・領収書）を郵送しています。もぎり（受付控え）は切り取らずに、そのままお持ちください。

当日、事前参加受付（2F シアターパーク）にて参加証のもぎり（受付控え）をお渡しください。

なお、会期中、会場内では、名札を必ず着用してください。

## 2. 当日参加申し込みの方へ

### ○ 参加費（当日）

会 員：医師（抄録集付）	11,000円（不課税）	非会員：医師（抄録集付）	12,000円（税込）
会 員：医師以外（抄録集付）	6,000円（不課税）	非会員：医師以外（抄録集付）	7,000円（税込）

当日、会場にて参加申込書をご記入いただき、当日参加受付（2F シアターパーク）にてお手続きと参加費お支払いをお願いします。参加証（名札・参加証明書・領収書）と抄録集1冊をお渡しします。

名札にご自身のお名前、ご所属を記入いただき、会期中、会場内では、名札を必ず着用してください。

参加費の領収書は名札に添付されています領収書をご利用ください。

《ご注意》大会ホームページより事前登録をいただいた方で、入金締め切り日時までに参加費の振り込みがなかった場合は、当日参加扱いとなり、参加費の差額が発生します。ご了承ください。

## 3. プログラム・抄録集

事前参加登録をされた方には、事前に送付しておりますので、ご持参ください。

ご購入を希望される方には当日参加受付にて、1冊1,000円（税込）で販売します。

## 4. 会場内でのご協力とお願い

(1) 発表者の許可なく、発表内容の撮影・録画・録音・SNSへの投稿は固く禁止いたします。

(2) 発表や講演中は、携帯電話やスマートフォン等のご使用はお控えください。またパソコンのご使用もお控えください。

## 5. 取得単位 一覧

本大会では、下記の単位／ポイントが取得できるよう申請・準備中です。

《ご注意》取得方法および申請用紙類を大会ホームページに掲載しています。必ずご確認ください。

### ■日本医師会生涯教育講座単位（カリキュラムコード、単位数）

特別講演 1	CC72（1）
教育講演 2	CC 5（1）
シンポジウム 1	CC70（2）
シンポジウム 5	CC12（2）
シンポジウム 7	CC10（2）

## ■認定産業医単位（日本医師会）（予定）

特別講演 1	生涯・専門（1）
教育講演 2	生涯・専門（1）
シンポジウム 1	生涯・専門（2）
シンポジウム 5	生涯・専門（2）
シンポジウム 7	生涯・専門（2）

《重要》認定産業医の単位取得のためには、受講前までにMAMIS（医師会会員情報システム）の登録完了が必要です。お早めに手続きをお願い致します。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

## ■日本精神神経学会単位（予定）

特別講演 1, 2
教育講演 1, 2, 3
シンポジウム 1, 2, 4, 5, 7

※日本精神神経学会会員カードを持参のうえ、単位受付にお越しください。

## ■その他の単位

以下につきましては、参加証で申請できます。

- ・日本臨床心理士資格認定協会ポイント
- ・日本作業療法士協会 生涯教育制度 基礎ポイント
- ・日本産業精神保健学会 産業精神保健専門職制度単位

## 6. 会場内設備について

### (1) クローク

場 所：2F ホワイエ

対応時間：4月26日（土）9時～18時50分

4月27日（日）9時～16時20分

※手荷物、コート類などをお預かりしますが、貴重品、壊れ物、食品類などはお預かりできません。

### (2) 呼び出し業務

原則として、お呼び出しは行っておりません。

### (3) 紛失物に関して

会期中のお忘れ物や落とし物につきましては、受付（2F シアターパーク）にて保管しております。

### (4) 託児室

ご用意がございません。予め、ご了承ください。

### (5) 喫煙スペース

敷地内にはございません。

## 7. ランチョンセミナー整理券配布について

ランチョンセミナーは整理券制です。

当日分のみ、お一人1枚、先着順で配布をいたします。

ランチョンセミナー会場へは、整理券をお持ちの方から優先的に入場いただけます。

場 所：2F 大ホール ホワイエ

時 間：4月26日（土）9時～11時20分

4月27日（日）9時～11時20分

※お弁当の数には限りがあります。整理券がなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。

※セミナー開始と同時に整理券は無効となりますのでご注意ください。

## 8. オンデマンド配信について

以下のプログラムについては後日、大会ホームページ上でオンデマンド配信を予定しております。

なお、諸般の事情により一部のセッションについては配信できない場合がございます。

詳細は大会ホームページをご参照ください。

### ■ 4月26日（土）

シンポジウム1

教育講演1

特別講演1

シンポジウム3

教育講演2

### ■ 4月27日（日）

特別講演2

教育講演3

シンポジウム7

※一部の単位のみオンデマンド配信にて取得可能です。対象となる単位や申請方法についても大会ホームページに掲載予定です。

## 9. 第9回年次大会開催案内（予定）

第9回 日本うつ病リワーク協会年次大会 北九州大会

会 期：2026年4月18日（土）～19日（日）

会 場 名：北九州国際会議場（福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30）

大 会 長：要 齊（医療法人要会 かなめクリニック 院長）

# 発表者の皆様へ

## 1. 座長へのご案内

予めプログラム時間をご確認の上、設定された時間内で発表や討論が円滑に進行するようにご配慮をお願いいたします。

- (1) セッション開始20分前までに座長・演者受付（2F シアターパーク）を行ってください。
- (2) ご担当されるセッションの開始10分前までに、会場前方の次座長席へお越しください。
- (3) 各会場には進行係があり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合はベルにてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

## 2. 発表者へのご案内

発表は全てパソコンによるプレゼンテーションとなります。

ご発表データは、PowerPointで編集してください。

ご発表されるセッションの開始10分前までに、会場前方の次演者席へお越しください。

各セッションの発表および質疑の時間は、次のとおりです。

プログラム	発表	質疑
企画講演・シンポジウム	事前にご案内している通り	事前にご案内している通り
一般演題	8分	3分

### (1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言（その改訂版を含む）、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」（精神神経学雑誌；99, 525-531, 1997）等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

臨床研究であって研究対象者がある場合には、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表示してください。

なおCOI（利益相反）に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

### (2) 発表データの作成について

①学術集会で用意するPCの仕様は以下のとおりです。

OS：Windows10      アプリケーション：Power Point 2021

②OS標準フォントをご使用ください。

③動画を使用の場合はWindows Media Playerで再生可能な動画をご用意ください。

動画ファイルはmp4形式またはwmv形式を推奨します。

④保存したデータはUSBメモリに入れてご持参ください。USBのコネクタ形状はType-AまたはType-Cです。USBメモリ以外のメディアは接続できないのでご注意ください。発表データおよびUSBメモリはウイルス感染のチェックを行い、ほかのPCでも動作可能か確認してください。またトラブルに備え、バックアップデータのご準備もお願いします。

⑤発表データ名

データのファイル名は、演題番号\_演者名としてください。

(例) 01-1\_リワーク太郎.pptx

⑥映像映写時の画角サイズは16：9です。

### (3) PC 受付 (データ提出) について

発表データを保存したUSBメモリーをもって、PC受付 (2F シアターパーク) にお越しください。

お持ち込みの最終締め切りは、登壇するセッションの開始30分前までです。

お預かりしたデータにつきましては、大会終了後に責任をもって消去します。

#### 【動画のある方とMacの場合】

- 動画のある方とMacの場合は必ずご自身のPCをお持ちください。
- 会場内のスクリーンへ投影のために、外部ディスプレイ出力端子を装備しているPCを使用してください。会場に設置の液晶プロジェクターへの接続は標準的なHDMIです。それ以外のインターフェイスを装備している場合は、必ず各自で変換アダプターを持参してください。
- 電源アダプターを必ず持参してください。
- 不測の事態に備え、プレゼンテーション用データファイルでのバックアップをUSBメモリーで持参してください。
- iPadやSurface、その他タブレット端末については、動作の保証は出来かねます。
- スクリーンセーバーの不起動、スリープ防止、自動電源オフ解除等を確認してください。
- 発表終了後、会場内オペレーター席にてPCをご返却いたします。

### (4) 座長・演者受付

演者・座長の方は、セッション開始20分前までに座長・演者受付 (2F シアターパーク) を行ってください (一般演題の演者の方を除く)。

### (5) 発表について

演台にはノートパソコンを用意しています。発表者ご自身での操作をお願いします。

各会場には進行係がおり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合はベルにてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

発表者ツールはご使用できません。

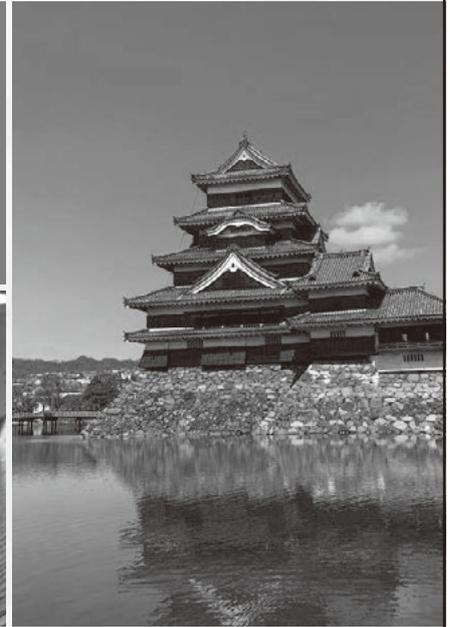
時間	座長	演者
セッション開始30分前まで	—	PC受付にて発表データ提出
セッション開始20分前まで	座長・演者受付(一般演題の座長を含む)	座長・演者受付(一般演題の演者を除く)
セッション開始10分前	会場前方の次座長席にて待機	会場前方の次演者席にて待機

## レセプション（懇親会）のご案内



ようこそ!!  
信州・松本へ

アルペンホルン生演奏  
信州そば打ち実演と振る舞い  
地酒と地ワインでおもてなし!



第8回

# 日本うつ病リワーク協会年次大会 レセプションのお知らせ

年次大会初日(4月26日)終了後、レセプションを開催いたします。美味しいお料理、長野県の地酒やワイン等を揃えておりますので、お食事、ご挨拶、ディスカッション等にご利用ください。

日時

令和7年

**4.26** (土) 18:30~20:00  
【18:00より受付開始】

料金

**5,000円**

会場

深志神社 梅風閣  
長野県松本市深志3-7-43  
(まつもと市民芸術館より徒歩5分)  
<https://baifukaku.jp/>

申込み

下記URLよりお申込みください。  
<https://utsu-rework8.gakkai-sp.com/entry/>  
※学会参加とセットでお申し込みください。  
懇親会のみのお申し込みはできません



第8回 日本うつ病リワーク協会年次大会 大会事務局 信州大学医学部精神医学教室 (担当: 深井)

問い合わせ TEL.0263-37-2638 | E-mail [seishin@shinshu-u.ac.jp](mailto:seishin@shinshu-u.ac.jp) | 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

※会場への地図は本誌2P、3Pをご覧ください

# 日程表・プログラム

# 日程表

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位(生涯：専門)(括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

※二重枠の講演：後日オンデマンド配信を予定(視聴方法・単位取得等は大会HPを参照)

**1日目** 2025年4月26日(土)

	A会場 主ホール	B会場 小ホール	C会場 オープンスタジオ	D会場 スタジオ2	E会場 M2会議室
8:30					
9:00	9:00~ 受付開始				
10:00	9:50~ <b>開会式</b> 10:00~12:00 医CC70(2) 産(2) 精 <b>シンポジウム1</b> 地方都市における持続可能な医療リワーク 座長:寺田 浩 座長・演者:鷺塚 伸介 シンポジスト:後藤 剛 高尾 哲也 後藤 純一	10:00~11:00 <b>協会講演</b> リワークのバリエーションが増えた今、私たち医療リワークは何をすべきなのか? 座長:五十嵐 良雄 演者:佐々木 一	10:00~12:00 精 <b>シンポジウム2</b> リワークで集団認知行動療法を活用する シンポジスト・座長:福家 知則 座長:田中 佐千恵 シンポジスト:堀内 千晶 菅 大索 三谷 絵音	10:00~12:00 <b>ワークショップ1</b> 発達障害のリワークプログラム 高橋 望	
11:00		11:10~12:10 精 <b>教育講演1</b> 働くこととマインドフルネス—リワークにおける体験の意味 座長:萩原 徹也 演者:高橋 美保			
12:00			12:15~13:15 <b>ランチョンセミナー1</b> プレクスビブラブルによるうつ病治療の新たな一手—5つの受容体に対する働きを検討する— 座長:鷺塚 伸介 演者:上田 均 共催:大塚製薬株式会社	12:15~13:15 <b>ランチョンセミナー2</b> うつ病に併存する不眠症治療を再考する~患者に寄り添う睡眠薬の入口、出口戦略~ 座長:鷺塚 輝久 演者:直正 哲司 共催:エーザイ株式会社	12:15~13:15 <b>ランチョンセミナー3</b> パーソナル・リカバリーを目標とした薬物療法のあり方 座長:遠藤 謙二 演者:川崎 洋介 共催:Meiji Seika ファルマ株式会社
13:00					
14:00	13:30~14:30 医CC72(1) 産(1) 精 <b>特別講演1</b> ASD、ADHDの人たちの復職—職場に戻るとき、戻らないとき— 座長:鷺塚 伸介 演者:本田 秀夫	13:30~14:30 <b>一般演題1</b> 地方都市におけるリワークプログラムと新たなプログラムの形 座長:高橋 誠		13:30~15:30 <b>施設認定委員会企画シンポジウム</b> 新しい施設認定基準:医療リワークが目指すもの 座長:横山 太範 佐々木 一 シンポジスト:池田 隆一 小泉 恭子 櫻井 房枝 岡崎 渉 神崎 順次	13:30~16:30 <b>ワークショップ2</b> 集団精神療法の学び方 荒木 章太郎 シナリオロールプレイ司会: 二之宮 正人 ディスカッション司会: 卜部 裕介
15:00	14:40~16:30 <b>シンポジウム3</b> コメディカルからみた地方都市における持続可能な医療リワーク 座長:杉村 直哉 田中 佐千恵 シンポジスト:柿崎 崇 成田 正樹 菅 大索 坂場 泰斗	14:40~15:40 <b>一般演題2</b> リワークプログラムで活用される様々なプログラム 座長:松田 匡弘	14:40~16:40 精 <b>シンポジウム4</b> 地方都市で新たにリワークを始めるとき、リワークに加わる時 座長:柴田 信義 後藤 智行 シンポジスト:鷺塚 輝久 三谷 絵音 永田 賢子 新畑 敬子 白井 幸子		
16:00		15:50~16:50 <b>一般演題3</b> プログラム実施における工夫 座長:高橋 徹			
17:00	16:40~17:40 医CC5(1) 産(1) 精 <b>教育講演2</b> ストライクゾーン広めて眺める双極症の世界線と「対人関係・社会リズム療法(IPSRT)」のすすめ 座長:岡 敬 演者:宗 未来	17:00~18:00 <b>一般演題4</b> リワークプログラムにおける再発予防 座長:大橋 昌資			
18:00	17:50~18:20 <b>評議員会総会・理事会</b>				
19:00	18:30~ <b>懇親会</b> (梅風園)				

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位(生涯：専門)(括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

※二重枠の講演：後日オンデマンド配信を予定(視聴方法・単位取得等は大会HPを参照)

2日目 2025年4月27日(日)

	A会場 主ホール	B会場 小ホール	C会場 オープンスタジオ	D会場 スタジオ2	E会場 M2会議室
8:30					
9:00	9:00~ 受付開始				
10:00	9:30~10:30 精 <b>特別講演2</b> 高度産業社会における職場メンタル不調者に対するデイケアの意義—精神病理学の見地から 座長：鷺塚 伸介 演者：加藤 敏	9:30~11:30 医CC12(2)産(2)精 <b>シンポジウム5</b> 地方都市の医療リワークを活用して～企業の視点 座長：杉山 暢宏 シンポジスト：田中 佐千恵 石川 敏 宮川 暁奈 錦織 直子	9:30~11:30 <b>ワークショップ3</b> 医療リワークに求められるマインドフルネスのエッセンス 座長：大磯 宏昭 大橋 昌資 演者：岩井 祐介 清瀬 千彰 緑川 綾	9:30~11:30 <b>研修委員会企画シンポジウム</b> リワーク認定スタッフ「認定・専門・指導」懇話会 座長：有馬 秀晃 シンポジスト：藤井 朋広 茂呂 和弥	9:30~11:30 <b>シンポジウム6</b> 地方都市の医療リワークを活用して～当事者の視点 座長：河埜 康二郎 公家 龍之介 シンポジスト：利用者3名
11:00	10:40~11:40 精 <b>教育講演3</b> 精神疾患の認知機能障害の意義と認知機能リハビリテーション 座長：横山 太範 演者：豊巻 敦人				
12:00	11:50~12:10 横ヶ崎高校書道部パフォーマンス		11:40~12:40 <b>ランチョンセミナー4</b> 復職支援における睡眠の重要性と指導のポイント 座長：鷺塚 伸介 演者：鈴木 正泰 共催：塩野義製薬株式会社		
13:00			12:50~13:50 <b>ランチョンセミナー7</b> うつ病治療を最適化するために～Shared Decision MakingとMeasurement-based Careを生かして～ 座長：小澤 政司 演者：菊地 俊暁 共催：ヴィアトリス製薬合同会社	12:15~13:15 <b>ランチョンセミナー5</b> うつ病患者の「不安」を分解する～「認知機能低下の自覚」から生じる不安へのアプローチ～ 座長：鷺塚 輝久 演者：福家 知則 共催：武田薬品工業株式会社	12:15~13:15 <b>ランチョンセミナー6</b> リワーク現場で知っておきたい不眠症治療 座長：大橋 昌資 演者：林田 健一 共催：第一三共株式会社
14:00	13:30~15:30 医CC10(2)産(2)精 <b>シンポジウム7</b> 地方都市における医療リワークの実際～長野型医療リワーク 座長：鷺塚 伸介 田中 佐千恵 シンポジスト：公家 龍之介 中村 千尋 河埜 康二郎 福家 知則	13:30~14:30 <b>一般演題5</b> リワークプログラムを利用者視点から振り返る 座長：中村 敏範		13:30~15:30 <b>ワークショップ4</b> うつ病リワークと認知機能障害：臨床的意義と評価法 横山 太範 住吉 太幹 末吉 一貴 宋 惠恩 長谷川 由美	
15:00		14:40~15:30 <b>一般演題6</b> 新たな技術の活用 座長：鈴木 一浩			
16:00	15:40~ 閉会式				
17:00					

# プログラム

1日目 2025年4月26日(土)

9:50～

## 開会式

A会場(主ホール)

### 大会長挨拶

大会長：鷺塚 伸介 信州大学医学部 精神医学教室

10:00～12:00

## シンポジウム1

医CC70(2)

産(2)

精

後日オンデマンド配信

A会場(主ホール)

座長：寺田 浩 (医療法人社団明光会 あおいクリニック)

鷺塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

### [地方都市における持続可能な医療リワーク]

#### SY1-1 地方都市における医療リワーク ～その現状と課題

鷺塚 伸介 信州大学医学部 精神医学教室

#### SY1-2 リワーク継続につなげる広報活動と集患

後藤 剛 山形さくら町病院、産業メンタルヘルスケア株式会社

#### SY1-3 医師からみた地方都市における持続可能な医療リワーク 経営的観点から

高尾 哲也 医療法人イプシロン

#### SY1-4 当院リワークプログラムの持続可能性の条件： 歴代スタッフへのアンケートとインタビューによる分析

後藤 純一 社会医療法人佐藤会 弓削病院

10:00～11:00

## 協会講演

B会場(小ホール)

座長：五十嵐 良雄 (医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門)

### リワークのバリエーションが増えた今、 私たち医療リワークは何をすべきなのか？

佐々木 一 医療法人社団爽風会 心の風クリニック

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位(生涯：専門)(括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

後日オンデマンド配信 後日オンデマンド配信を予定(単位等の詳細は大会HPを参照)

10:00～12:00 **シンポジウム2** 精

C会場(オープンスタジオ)

座長：福家 知則 (医療法人 川中島Fメンタルクリニック)

田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科 作業療法学専攻)

### [リワークで集団認知行動療法を活用する]

#### SY2-1 リワークプログラムにおける集団認知行動療法の功罪

福家 知則 医療法人 川中島Fメンタルクリニック

#### SY2-2 復職後の集団認知行動療法について

堀内 千晶 小澤こころのクリニック

#### SY2-3 メンタルリハたてばやしにおける集団認知行動療法の役割について

菅 大索 医療法人双信会 たてばやし心療クリニック メンタルリハたてばやし

#### SY2-4 認知行動療法を基にしたアセスメントと介入を集団で行うことの意義

三谷 絵音 医療法人 東口メンタルクリニック、信州大学大学院 総合人文社会科学研究科

10:00～12:00 **ワークショップ1**

D会場(スタジオ2)

#### WS1 発達障害のリワークプログラム

高橋 望 医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門

11:10～12:10 **教育講演1** 精 後日オンデマンド配信

B会場(小ホール)

座長：萩原 徹也 (長野県精神保健福祉センター、信州大学医学部 精神医学教室)

#### EL1 働くこととマインドフルネス—リワークにおける体験の意味

高橋 美保 東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース

12:15～13:15 **ランチョンセミナー1**

**C会場** (オープンスタジオ)

座長：鷲塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

**LS1** **ブレクスピプラゾールによるうつ病治療の新たな一手  
—5つの受容体に対する働きを検討する—**

上田 均 医療法人ひまわり もりおか心のクリニック

共催：大塚製薬株式会社

12:15～13:15 **ランチョンセミナー2**

**D会場** (スタジオ2)

座長：鷲塚 輝久 (医療法人 東口メンタルクリニック)

**LS2** **うつ病に併存する不眠症治療を再考する  
～患者に寄り添う睡眠薬の入口、出口戦略～**

直正 哲司 なおまさクリニック

共催：エーザイ株式会社

12:15～13:15 **ランチョンセミナー3**

**E会場** (M2会議室)

座長：遠藤 謙二 (医療法人友愛会 千曲荘病院)

**LS3** **パーソナル・リカバリーを目指した薬物療法のあり方**

川崎 洋介 特定医療法人南山会 峡西病院

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

13:30～14:30 **特別講演1** 医CC72(1) 産(1) 精 後日オンデマンド配信

**A会場** (主ホール)

座長：鷲塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

**SL1** **ASD、ADHDの人たちの復職—職場に戻るとき、戻らないとき—**

本田 秀夫 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室、信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部、  
長野県発達障がい情報・支援センター

13:30～14:30 **一般演題1** [地方都市におけるリワークプログラムと新たなプログラムの形] **B会場** (小ホール)

座長：高橋 誠 (まことクリニック)

**O1-1** **地方都市の精神科デイケアにおけるリワークプログラムの転帰調査と  
その分析**

○高橋 涼歌、駿河 孝史、久保田 嘉子、小野寺 あおい

社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院 デイケア リワーク室

**O1-2** **オンラインを活用した多施設共同運営プログラムの意義**

○武井 勇樹<sup>1)</sup>、大濱 伸昭<sup>2)</sup>、早馬 俊<sup>3)</sup>、杉村 直哉<sup>4)</sup>、高橋 健<sup>1)</sup>

1) 医療法人社団柏水会 柏メンタルクリニック、2) 医療法人薪水 浦河ひがし町診療所、

3) 医療法人南山会 横浜メンタルクリニック戸塚、4) 湘南医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科

### O1-3 地方都市部精神科デイケアにおけるリワーク支援の実践

○竹原 亜弥子、河埜 康二郎、中澤 彩織、福島 ひと美、木口 真理子、遠藤 謙二  
医療法人友愛会 千曲荘病院

### O1-4 弓削病院リワークでの THINC-it の活用について

○長瀬 勇誠、長崎 彩実、後藤 朋美、後藤 純一、岡田 修治、須古 修二  
社会医療法人佐藤会 弓削病院

### O1-5 短期型リワークプログラムの在り方を考える

○奥山 祐司<sup>1)</sup>、赤木 祐太郎<sup>1)</sup>、神尾 有紀<sup>1)</sup>、北川 仁美<sup>1)</sup>、榊原 可紗<sup>1)</sup>、相馬 徳子<sup>1)</sup>、中西 裕子<sup>1)</sup>、  
林 美里<sup>1)</sup>、廣瀬 賢人<sup>1)</sup>、水谷 名穂美<sup>1)</sup>、李 淳美<sup>1)</sup>、藤田 潔<sup>2)</sup>  
1) 藤田メンタルケアサテライト徳重北、2) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター

13:30～15:30 施設認定委員会企画シンポジウム

D会場 (スタジオ2)

座長：横山 太範 (さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ)  
佐々木 一 (医療法人社団爽風会 あしたの風クリニック)

### CS1 新しい施設認定基準:医療リワークが目指すもの

シンポジスト：

池田 隆一 けいふう心療クリニック  
小泉 恭子 社会医療法人杏和会 阪南病院  
櫻井 房枝 医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック  
岡崎 渉 NTT東日本関東病院  
神崎 順次 養南病院

13:30～16:30 ワークショップ2

E会場 (M2会議室)

### WS2 集団精神療法の学び方

荒木 章太郎 医療法人社団爽風会 心の風クリニック

シナリオロールプレイ司会：

二之宮 正人 医療法人社団翠会 八幡厚生病院

ディスカッション司会：

ト部 裕介 公立学校共済組合 関東中央病院メンタルヘルスセンター

座長：杉村 直哉 (湘南医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻)  
田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科 作業療法学専攻)

### [コメディカルから見た地方都市における持続可能な医療リワーク]

#### **SY3-1** コメディカルから見た地方都市における持続可能な医療リワーク ～企業連携と今後の課題～

柿崎 崇 小澤こころのクリニック

#### **SY3-2** “ヒト”の視点から考える地方都市における持続可能な医療リワーク

成田 正樹 特定医療法人南山会 峡西病院 リハビリテーション部 心理グループ

#### **SY3-3** 医療リワークを持続していくために ―メンタルリハたてばやしでの取り組み―

菅 大索 医療法人双信会 たてばやし心療クリニック メンタルリハたてばやし

#### **SY3-4** 茨城県つくば市における持続可能なリワーク

坂場 泰斗 つくば心療内科クリニック

座長：松田 匡弘 (医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 精神科作業療法室)

#### **O2-1** リカバリーを目指した認知療法に基づくリワークプログラムの効果

○加来 明希子、溝口 里香、長谷屋 浩、作井 浩美、松坂 稔、武田 龍太郎

医療法人社団慶神会 武田病院

#### **O2-2** 集団芸術療法を用いたプログラム導入の取り組みについて

○瀬崎 真也<sup>1)</sup>、長尾 俊宏<sup>1)</sup>、齋藤 渚<sup>1)</sup>、赤瀬 瞳子<sup>1)</sup>、増子 遥華<sup>1)</sup>、青山 顕匠<sup>1)</sup>、田中 麻里<sup>1)</sup>、  
金見 志穂<sup>1)</sup>、吉野 美子<sup>1)</sup>、宮下 恵美子<sup>2)</sup>、原 広一郎<sup>1)3)</sup>、儘田 孝<sup>2)</sup>、秀野 武彦<sup>3)</sup>、浅井 禎之<sup>3)</sup>

1) 医療法人静和会 浅井病院 診療部心理科、2) 医療法人静和会 新検見川メンタルクリニック、  
3) 医療法人静和会 浅井病院 精神科

#### **O2-3** リワークプログラムにおける“都内ランニング”の取り組み

○小林 陽香、佐藤 俊之

医療法人社団柏水会 三軒茶屋診療所東京リワークセンター

## O2-4 神経発達症の増加とプログラム

○竹田 明子<sup>1)</sup>、市田 忍<sup>2)</sup>、藤井 朋広<sup>2)</sup>、露木 美也子<sup>1)</sup>

1) 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック、

2) 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンターきょうと

## O2-5 リワーク内の職場連携を通して、動機付けが高まり復職を果たした20代男性の一症例 ～ASD、ADHD 合併例～

○竹下 正浩<sup>1)2)3)</sup>、武井 美智子<sup>1)2)3)</sup>、窪田 恵子<sup>1)</sup>、福本 成子<sup>1)2)3)</sup>、末吉 穂月<sup>1)2)3)</sup>、木村 昌幸<sup>1)2)3)</sup>

1) 医療法人和心会 武井内科クリニック、2) 有限会社ノーティス、3) NPO法人こころのサポートアミ

14:40～16:40

### シンポジウム4 精

C会場 (オープンスタジオ)

座長：柴田 信義 (医療法人双信会 たてばやし心療クリニック)

後藤 智行 (株式会社 TSUMUGOE)

### [地方都市で新たにリワークを始めるとき、リワークに加わる時]

#### SY4-1 当院のリワークデイケア開設までの経緯と現状について

○鷺塚 輝久<sup>1)</sup>、三谷 絵音<sup>1)2)</sup>

1) 医療法人 東口メンタルクリニック、2) 信州大学大学院 総合人文社会科学研究科

#### SY4-2 東口メンタルクリニックでのリワークプログラム ～開設1年未満のリワークプログラムの利用の流れと概要～

○三谷 絵音<sup>1)2)</sup>、鷺塚 輝久<sup>1)</sup>

1) 医療法人 東口メンタルクリニック、2) 信州大学大学院 総合人文社会科学研究科

#### SY4-3 大学病院でのリワークデイケア、ショートケア開設の取り組み

永田 賢子 信州大学医学部附属病院

#### SY4-4 地方都市における医療リワークの試み

新畑 敬子 医療法人共生会 知多半田こころクリニック

#### SY4-5 2年目のリワークデイケア ～現状と今後の課題～

白井 幸子 医療法人共生会 知多半田こころクリニック

**O3-1** リワークプログラムの相互作用による、セルフモニタリングの促進

○藤井 朱里、小畑 賢美、大磯 宏昭

特定医療法人富尾会 桜が丘病院

**O3-2** いきいきと自分らしく働くために。  
医療リワークプログラムの中で Well-being を考える○奥山 祐司<sup>1)</sup>、赤木 祐太郎<sup>1)</sup>、神尾 有紀<sup>1)</sup>、北川 仁美<sup>1)</sup>、榊原 可紗<sup>1)</sup>、相馬 徳子<sup>1)</sup>、中西 裕子<sup>1)</sup>、林 美里<sup>1)</sup>、廣瀬 賢人<sup>1)</sup>、水谷 名穂美<sup>1)</sup>、李 淳美<sup>1)</sup>、藤田 潔<sup>2)</sup>

1) 藤田メンタルケアサテライト徳重北、2) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター

**O3-3** 構成的な作業活動を通して自己洞察を深める取り組み○林 美里<sup>1)</sup>、赤木 祐太郎<sup>1)</sup>、奥山 祐司<sup>1)</sup>、神尾 有紀<sup>1)</sup>、北川 仁美<sup>1)</sup>、榊原 可紗<sup>1)</sup>、相馬 徳子<sup>1)</sup>、中西 裕子<sup>1)</sup>、廣瀬 賢人<sup>1)</sup>、水谷 名穂美<sup>1)</sup>、李 淳美<sup>1)</sup>、藤田 潔<sup>2)</sup>

1) 藤田メンタルケアサテライト徳重北リワークセンター、2) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター

**O3-4** 生活指導と再燃予防策の両側面における復職支援についての一考察

○千葉 真弓

医療法人社団HeartStation 府中こころ診療所

**O3-5** リワークにおけるプレゼンティズム検査の有用性  
～入院での多面的評価が治療と就労継続に役立った症例～

○清瀬 千彰、中村 嘉宏、橋本 麻里子、末政 涼子、川崎 紀枝、田中 克昌、内海 浩彦、川嶋 祥樹

内海慈仁会 有馬病院

**EL2** ストライクゾーン広めで眺める双極症の世界線と  
「対人関係・社会リズム療法 (IPSRT)」のすすめ

宗 未来 東京歯科大学 市川総合病院 精神科

**O4-1 再利用者の経緯からリワークの役割を考える**

○西村 聡美、長井 景子

医療法人十全会 十全病院

**O4-2 心理療法に特化したリワークプログラムに関する実践報告(9)  
～フォローアッププログラムを継続することについての一考察～**

○亀井 宗<sup>1)</sup>、木下 芳美<sup>1)2)</sup>、唐渡 雅行<sup>1)</sup>

1)医療法人清聖会 名古屋365心療内科、2)ワークライフ・エンカレッジ株式会社

**O4-3 調整的音楽療法を取り入れたリワークプログラムの効果の持続性の検討**

○星野 諒太<sup>1)</sup>、森平 直子<sup>2)</sup>、宮内 雅利<sup>3)</sup>、服部早紀<sup>1)</sup>、須田 顕<sup>4)</sup>、藤田 英美<sup>5)</sup>、小林 陵<sup>5)</sup>、五十嵐 香<sup>5)</sup>、浅見 剛<sup>3)</sup>

1)横浜市立大学附属病院 精神科、2)東京科学大学 保健管理センター、3)横浜市立大学 医学部精神医学教室、4)横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター、5)横浜市立大学附属病院 精神科心理室

**O4-4 リワーク支援終了後の復職継続とマインドフルネス特性との関係**

○大島 京子、島 真弓、土師 裕子、浅岡 聡、黒河 華苗、園島 安澄

医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

**O4-5 運動プログラムはフォローアップになるのか  
～東京リワークセンターの取り組み～**

○佐藤 俊之、小林 陽香

医療法人社団柏水会 三軒茶屋診療所東京リワークセンター

9:30～10:30 特別講演2 精 後日オンデマンド配信

A会場 (主ホール)

座長：鷲塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

**SL2** 高度産業社会における職場メンタル不調者に対するデイケアの意義  
—精神病理学の見地から

加藤 敏 小山富士見台病院、自治医科大学

9:30～11:30 シンポジウム5 医CC12(2) 産(2) 精

B会場 (小ホール)

座長：杉山 暢宏 (信州大学医学部 保健学科 実践作業療法学)

田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科 作業療法学専攻)

[地方都市の医療リワークを活用して～企業の視点]

**SY5-1** 復職支援における医療リワークと企業の連携について

田中 佐千恵 信州大学医学部 保健学科 作業療法学専攻

**SY5-2** メンタルヘルス不調からの職場復帰 ～リワーク活用事例とその課題～

石川 敏 セイコーエプソン株式会社 人的資本・健康経営本部 人事部

**SY5-3** 医療リワークを活用した松本市役所での復職支援

宮川 暁奈 松本市 総務部 職員課

**SY5-4** 中小企業における医療リワーク支援を活用した復職支援の実際

錦織 直子 みすずホールディングス株式会社 健康管理室

9:30～11:30 ワークショップ3

C会場 (オープンスタジオ)

座長：大磯 宏昭 (医療法人富尾会 桜が丘病院)

大橋 昌資 (医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所)

**WS3** 医療リワークに求められるマインドフルネスのエッセンス

岩井 祐介 医療法人杏和会 阪南病院 精神科

清瀬 千彰 医療法人内海慈仁会 有馬病院

緑川 綾 慶應義塾大学 看護医療学部

医 CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位(生涯：専門)(括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

後日オンデマンド配信 後日オンデマンド配信を予定(単位等の詳細は大会HPを参照)

9:30～11:30 **研修委員会企画シンポジウム**

**D会場** (スタジオ2)

座長：有馬 秀晃 (品川駅前メンタルクリニック)

**CS2** [リワーク認定スタッフ[認定・専門・指導]懇話会]

リワークスタッフが抱える苦勞(困りごと)と工夫の共有

藤井 朋広 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック

リワークスタッフとしての立ち位置 ～本人と職場との間で～

茂呂 和弥 医療法人社団山崎会 サンピエール病院

9:30～11:30 **シンポジウム6**

**E会場** (M2会議室)

座長：河埜 康二郎 (医療法人友愛会 千曲荘病院)

公家 龍之介 (信州大学医学部附属病院)

[地方都市の医療リワークを活用して～当事者の視点]

10:40～11:40 **教育講演3** 精 後日オンデマンド配信

**A会場** (主ホール)

座長：横山 太範 (さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ)

**EL3** 精神疾患の認知機能障害の意義と認知機能リハビリテーション

豊巻 敦人 北海道大学 大学院医学研究院 精神医学教室

11:40～12:40 **ランチョンセミナー4**

**C会場** (オープンスタジオ)

座長：鷲塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

**LS4** 復職支援における睡眠の重要性と指導のポイント

鈴木 正泰 日本大学医学部 精神医学系精神医学分野

共催：塩野義製薬株式会社

11:50～12:10 **蟻ヶ崎高校書道部パフォーマンス**

**A会場** (主ホール)

長野県松本蟻ヶ崎高等学校 書道部による、圧巻の書道パフォーマンスです。ランチョンまでのお時間にぜひご鑑賞くださいませ！



12:15～13:15 **ランチョンセミナー5**

**D会場** (スタジオ2)

座長：鷲塚 輝久 (医療法人 東口メンタルクリニック)

**LS5** うつ病患者の「不安」を分解する  
～「認知機能低下の自覚」から生じる不安へのアプローチ～

福家 知則 医療法人 川中島Fメンタルクリニック

共催：武田薬品工業株式会社

12:15～13:15 **ランチョンセミナー6** ※聴講は医師・看護師・薬剤師に限らせていただきます

**E会場** (M2会議室)

座長：大橋 昌資 (医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所)

**LS6** リワーク現場で知っておきたい不眠症治療

林田 健一 スリープ・サポート クリニック

共催：第一三共株式会社

12:50～13:50 **ランチョンセミナー7**

**C会場** (オープンスタジオ)

座長：小澤 政司 (小澤こころのクリニック)

**LS7** うつ病治療を最適化するために  
～Shared Decision MakingとMeasurement-based Careを生かして～

菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

13:30～15:30 **シンポジウム7** 医CC10(2) 産(2) 精 後日オンデマンド配信

**A会場** (主ホール)

座長：鷲塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科 作業療法学専攻)

**[地方都市における医療リワークの実際～長野型医療リワーク]**

**SY7-1** 国立大学病院におけるリワークプログラムの実際

公家 龍之介 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
信州大学大学院 総合医理工学研究科 医学系専攻

**SY7-2** 大規模デイケアにおけるリワークプログラムの実践

○中村 千尋、池上 和代、丸田 照美、多々良 恭子、佐藤 江美、湯澤 卓、島村 真紀、中野 しほじ、  
花岡 敏彦

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 デイケア科

**SY7-3** 地方都市における医療リワーク ―精神科単科病院での実践―

○河埜 康二郎、中澤 彩織、竹原 亜弥子、遠藤 謙二

医療法人友愛会 千曲荘病院

**SY7-4** 当院リワークを通して見えてきた「地方都市での医療リワークの2つの特徴」

福家 知則 医療法人 川中島Fメンタルクリニック

13:30～14:30 **一般演題5** [リワークプログラムを利用者視点から振り返る]

**B会場** (小ホール)

座長：中村 敏範 (信州大学医学部附属病院 精神科)

**O5-1** グループワークプログラムに求められる課題内容の検討  
～利用者の振り返り内容を基にした実践的報告～

○高科 雅哉

鳴海ひまわりクリニック

**O5-2** リワーク参加への動機づけを継続するために

○及川 絵子、吉越 淑子、竹内 信治、伊藤 友浩

医療法人社団ユーアイエメリー会 すずのきメンタルケアクリニック

**O5-3** リワークプログラムでリカバリーゴールを立てる意義について  
～IMR (Illness management and Recovery) プログラムを通して～

○横澤 直文、石井 章紀、平村 真紀子、西前 英紀

特定医療法人社団清心会 藤沢病院 デイケア科

**O5-4** 医療リワークにおける『キャリアデザイン』プログラムの導入

○犬飼 希望<sup>1)</sup>、田中 佐千恵<sup>2)</sup>、公家 龍之介<sup>3)</sup>、中野 未来<sup>3)</sup>、犬飼 清香<sup>1)</sup>、永田 賢子<sup>4)</sup>、  
中村 敏範<sup>5)</sup>、鷲塚 伸介<sup>5)</sup>

1) 信州大学医学部附属病院 患者サポートセンター、2) 信州大学医学部保健学科 基礎作業療法学

3) 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、4) 信州大学医学部附属病院 看護部

5) 信州大学医学部附属病院 精神科

**O5-5** A病院のリワークプログラムにおける医療者支援の振り返り  
～利用者視点から～

○永田 賢子<sup>1)</sup>、中込 さと子<sup>2)</sup>

1) 信州大学医学部附属病院、2) 信州大学保健学科

**WS4 うつ病リワークと認知機能障害:臨床的意義と評価法**

横山 太範 さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ  
 住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部  
 末吉 一貴 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部  
 宋 恵恩 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部  
 長谷川 由美 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

14:40～15:30 **一般演題6** [新たな技術の活用]**B会場** (小ホール)

座長：鈴木 一浩 (信州大学医学部 地域精神医療学講座)

**O6-1** リワークでの自閉スペクトラム特性を考慮した支援にVRが活用できるか

○赤木 祐太郎<sup>1)</sup>、奥山 祐司<sup>1)</sup>、神尾 有紀<sup>1)</sup>、北川 仁美<sup>1)</sup>、榊原 可紗<sup>1)</sup>、相馬 徳子<sup>1)</sup>、  
 中西 裕子<sup>1)</sup>、林 美里<sup>1)</sup>、廣瀬 賢人<sup>1)</sup>、水谷 名穂美<sup>1)</sup>、李 淳美<sup>1)</sup>、藤田 潔<sup>2)</sup>

1) 藤田メンタルケアサテライト徳重北リワークセンター、2) 桶狭間病院藤田こころケアセンター

**O6-2** 集団復職支援プログラムとスマホアプリを用いた自己学習プログラムを併用した復職支援の試み

○高階 光梨<sup>1)</sup>、内田 太朗<sup>1)</sup>、藤本 志乃<sup>1)</sup>、武井 友紀<sup>1)</sup>、金子 力<sup>2)</sup>、染谷 貴紀<sup>2)</sup>、奥田 真衣<sup>1)</sup>、  
 中村 洸太<sup>3)</sup>、熊野 宏昭<sup>4)</sup>、江口 尚<sup>5)</sup>

1) 株式会社Awarefy、2) 新座すずのきクリニック、3) 東洋学園大学 人間科学部、  
 4) 早稲田大学 人間科学学術院、5) 産業医科大学 産業生態科学研究所

**O6-3** NEARを導入した当院リワークプログラムの効果検討

○池上 和代、中村 千尋、丸田 照美

こころの医療センター駒ヶ根 デイケア科

**O6-4** リワークプログラムが脳にもたらす影響を脳機能測定により評価する

○中村 敏範<sup>1)</sup>、林 知美<sup>1)</sup>、田中 佐千恵<sup>2)</sup>、公家 龍之介<sup>3)</sup>、犬飼 清香<sup>4)</sup>、犬飼 希望<sup>4)</sup>、  
 古水戸 菜々香<sup>1)</sup>、松平 祐美子<sup>1)</sup>、寺澤 美穂<sup>5)</sup>、鷲塚 伸介<sup>1)</sup>

1) 信州大学医学部附属病院 精神科、2) 信州大学医学部保健学科 基礎作業療法学、  
 3) 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、4) 信州大学医学部附属病院 患者サポートセンター、  
 5) 信州大学医学部附属病院 薬剤部

15:40～ **閉会式****A会場** (主ホール)